

2025年2月期第1四半期 決算補足資料

2024年7月10日

経営理念

For The People

For the People

企業は

「社会のニーズを満たすため」
「人類の幸せに貢献するため」

に存在しているといえます。

吉野家ホールディングスグループは、国や地域を越えた世界中の人々のために企業活動を行います。

世界中の人々とはお客様であり、同じ志のもとに集う従業員であり、社会のすべての方々です。

「人」のためを考え、
「人」を大切にし、
「人」に必要とされたい。

お客様へお値打ち感のある商品をお届けしたい。
従業員とはやりがいのある充実した人生を共に歩みたい。

社会との共生を積極的に図り、地球環境を守りたい。
そんな吉野家ホールディングスグループでありたい。
『For the People』にはそのような思いが込められています。

すべては人々のために…。

資料構成

1

第1四半期業績概要

2

サステナビリティの推進

決算サマリー

1 業績の状況

売上高7.4%増、営業利益38.6%減、経常利益24.6%減、四半期純利益33.5%減

- ・セグメント別売上高は、吉野家7.3%増、はなまる4.2%増、海外10.1%増
- ・人件費、消耗品費およびM&A費用の増加により減益。原価率は計画通りに着地
- ・2024年5月、宝産業株式会社の株式を取得（収益の取り込みは第2四半期から）

2 既存店の状況

既存店売上高前年比4.9%増

- ・セグメント別既存店売上高は、吉野家5.5%増、はなまる9.4%増、海外2.7%減（現地通貨ベース）
- ・吉野家客数前年比100.6%、同客単価104.8%、はなまる客数前年比99.2%、同客単価110.4%

3 新規出店の状況

新規出店36店舗（国内12店舗、海外24店舗）

- ・セグメント別出店数は、吉野家8店舗、はなまる3店舗、その他1店舗
- ・出店36店舗、閉店30店舗により期末店舗数は2,772店舗

4 財務の状況

自己資本比率53.6%（前期末比+0.2%）

- ・純資産は前期末差+6.4億円の614.9億円
- ・有利子負債は前期末差+10億円の194.3億円

5 業績計画

年度業績見込みは据え置き

- ・全社売上高前年比8.3%増の2,030億円、営業利益は12.2%減の70億円
- ・年間配当は、1株当たり年間20円を計画

業績概要

単位：百万円

	2025年2月期 第1四半期累計		2024年2月期 第1四半期累計		増減		年間計画	
	実績	売上高比	実績	売上高比	前年同期差	前年同期比	計画	進捗率
売上高	47,542	-	44,278	-	+3,264	107.4%	203,000	23.4%
売上総利益	30,846	64.9%	28,691	64.8%	+2,155	107.5%	129,200	23.9%
営業利益	880	1.9%	1,434	3.2%	▲ 554	61.4%	7,000	12.6%
経常利益	1,238	2.6%	1,642	3.7%	▲ 403	75.4%	7,400	16.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	681	1.4%	1,024	2.3%	▲ 343	66.5%	4,100	16.6%
EBITDA	2,481	5.2%	2,977	6.7%	▲ 495	83.4%	14,286	17.4%

EBITDA：営業利益 + 減価償却費及びのれん償却費

既存店売上高前年比

	3月	4月	5月	第1四半期
全社	106.7%	105.1%	102.9%	104.9%
吉野家	107.2%	105.1%	104.1%	105.5%
はなまる	114.3%	109.6%	104.6%	109.4%
ラーメン	111.0%	106.5%	109.1%	108.9%

全社は海外の1-3月を合算集計

《吉野家》

上期見込み106.1%に対し第1四半期実績
105.5%の▲0.6P

《はなまる》

上期見込み108.1%に対し第1四半期実績
109.4%の+1.3P

《ラーメン》

「せたが屋」がインバウンド需要を取り込み
全体を牽引（羽田空港、東京駅）

	1月	2月	3月	第1四半期
海外合計	96.6%	99.9%	95.7%	97.3%
アメリカ	102.3%	101.2%	96.7%	100.0%
中国	94.2%	85.8%	89.0%	89.7%
シンガポール	96.6%	98.8%	101.3%	98.9%

海外は現地通貨ベース

《アメリカ》

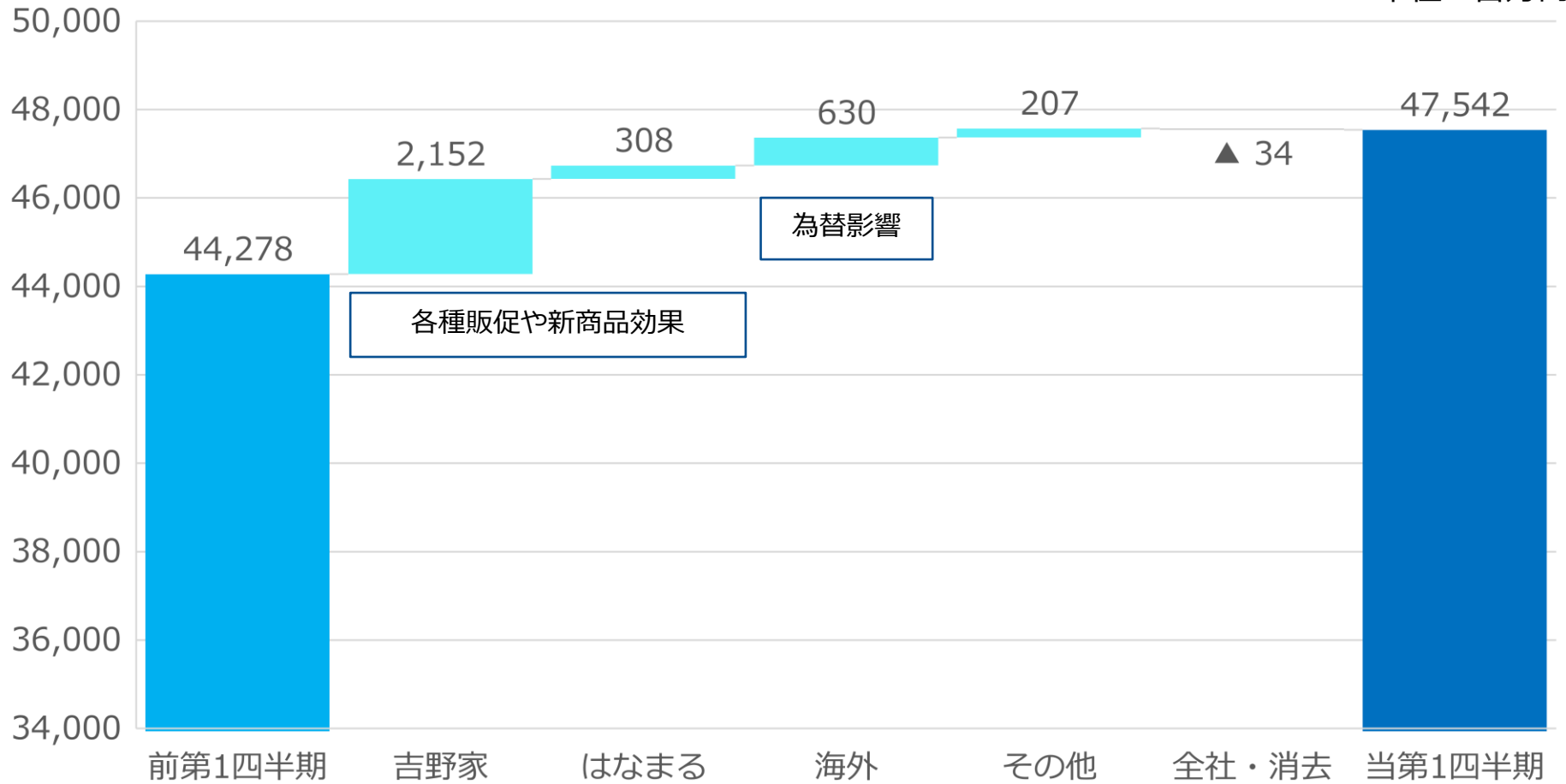
4月よりカリフォルニア州においてファスト
フードの最低時給が25%の大幅増加に改
定されることに対して、ファストフード各
社が価格政策を行い、その影響によって客
数への影響が顕在化

《中国》

経済不況の影響が外食産業にも大きく波及

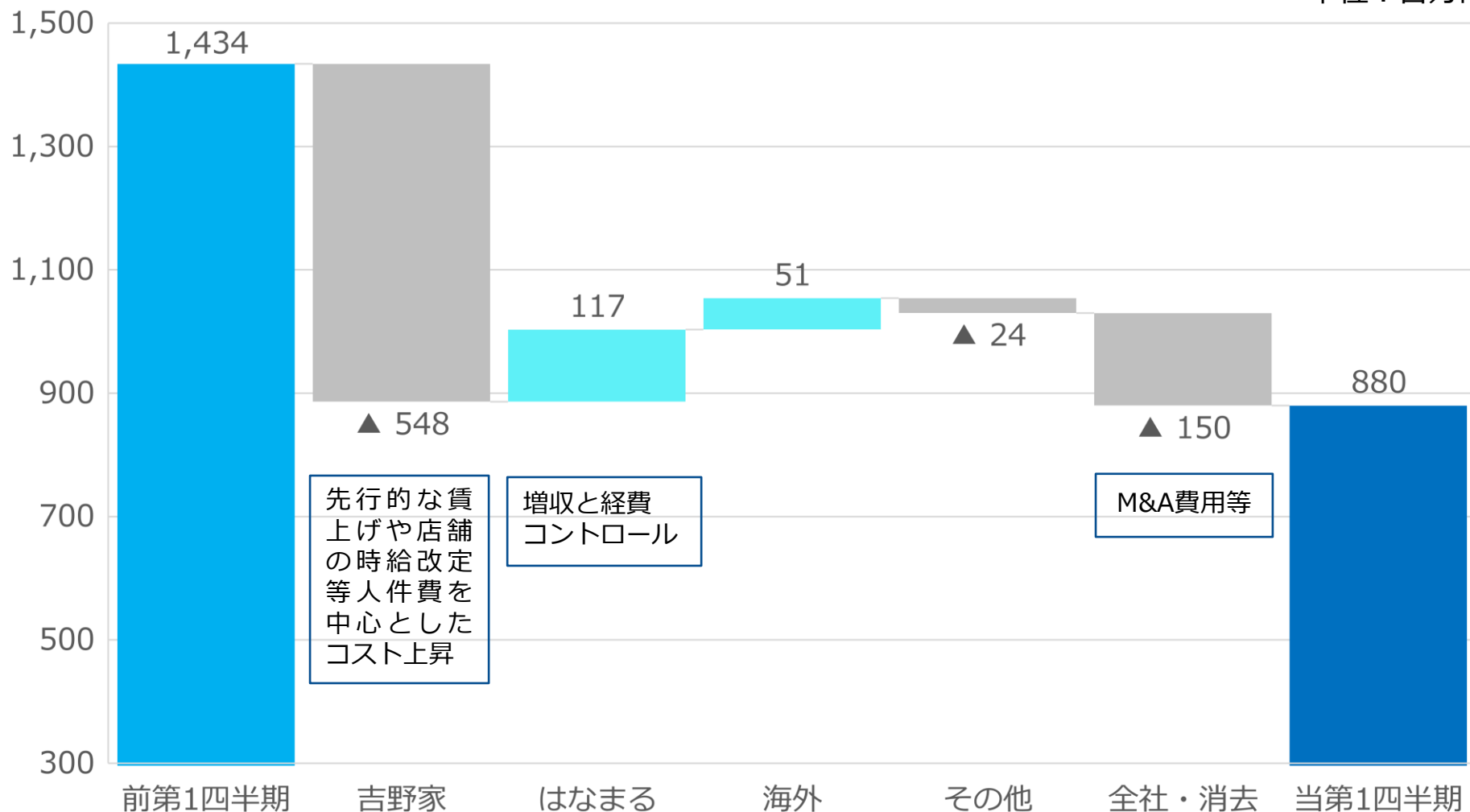
セグメント別売上高実績

単位：百万円

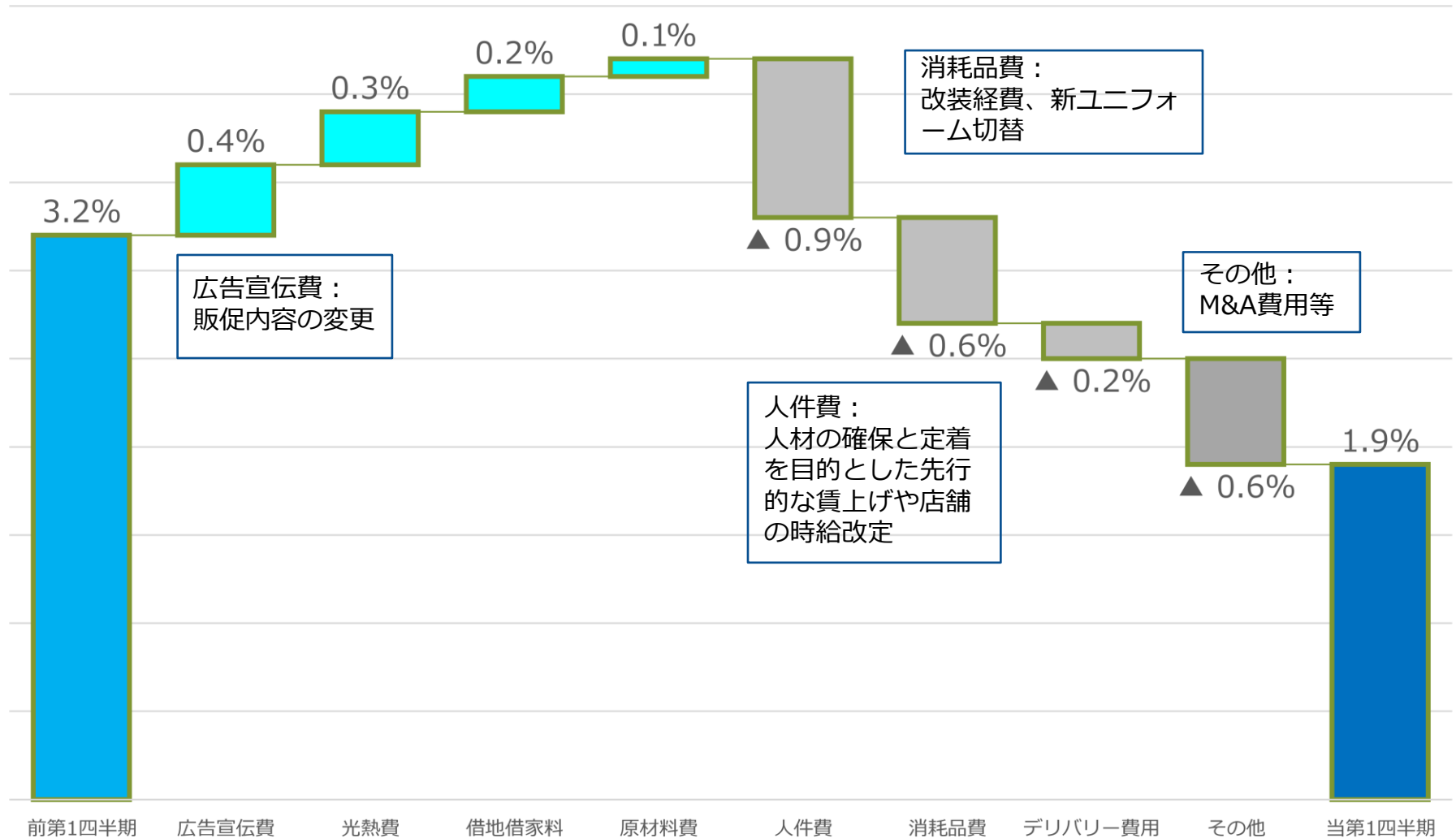


セグメント別営業利益実績

単位：百万円



営業利益率の増減要因



セグメント別出退店実績

	前期末	出店	退店	第1 四半期末	増減
吉野家	1,229	8	5	1,232	+3
はなまる	418	3	5	416	▲ 2
海外	994	24	16	1,002	+8
その他	125	1	4	122	▲ 3
グループ計	2,766	36	30	2,772	+6

「吉野家」

転換を進めている新サービスモデルの店舗数は前期末412店舗から430店舗と18店舗増加

テイクアウト・デリバリー専門店は前期末37店舗から39店舗へ増加

「海外」

中国の出店が拡大し、海外店舗数1,000店舗を達成

【出店概況】

資材調達コストの増加に伴い、テイクアウト・デリバリー専門店の出店基準を再精査
出店数は計画を下回る

【投資実績】

160億円の計画に対して第1四半期累計26.2億円の実績
(吉野家14.1億円、はなまる2.1億円、海外7.1億円、その他2.9億円)

財政状態

単位：百万円

	第1四半期末	前期末	増減
流動資産	40,796	43,751	▲ 2,954
現金及び預金	22,451	27,346	▲ 4,895
その他	18,345	16,405	+1,940
固定資産	73,020	69,185	+3,835
有形固定資産	48,837	44,965	+3,871
無形固定資産	3,003	2,788	+214
投資その他	21,180	21,430	▲ 250
資産合計	113,817	112,936	+881

	第1四半期末	前期末	増減
流動負債	36,162	30,847	+5,315
短期借入金	2,056	1,655	+400
1年内長期借入金	13,154	7,192	+5,962
その他	20,951	21,998	▲ 1,047
固定負債	16,157	21,239	▲ 5,081
長期借入金	4,225	9,535	▲ 5,309
その他	11,932	11,704	+227
負債合計	52,320	52,086	+233
純資産	61,497	60,849	+647
負債・純資産合計	113,817	112,936	+881

	当第1四半期累計	前第1四半期累計	増減
営業CF	751	4,219	▲ 3,467
投資CF	▲ 4,385	▲ 1,997	▲ 2,388
財務CF	▲ 1,487	▲ 1,634	+146
現金及び同等物 期首残高	26,275	23,396	+2,878
現金及び同等物 期末残高	21,372	24,014	▲ 2,641
FCF	▲ 3,633	2,222	▲ 5,856

	第1四半期末	前期末	増減
自己資本比率	53.6%	53.4%	+0.2%
D/Eレシオ	0.32	0.30	+0.02
ネットD/Eレシオ	▲ 0.05	▲ 0.15	+0.10

純利益および為替影響により純資産増加

- ・ 為替調整勘定 +5.9億円

成長に向けた店舗投資と競争力強化のためのM&A






- ・ 投資支出 +23億円

資料構成

- 1 第1四半期業績概要
- 2 サステナビリティの推進

サステナビリティの推進

<当社グループの5つのマテリアリティとKPI>

マテリアリティ	課題解決の方向性 (基本方針)	吉野家ホールディングスグループ の主な取り組み	KPIの設定	2030年度 目標	2023年度 実績	2022年度 実績	SDGsへの 貢献
ダイバーシティ& インクルージョン を実現し「ひと」の 成長と活躍を推進	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ& インクルージョンの実践 ライフワークバランス の推進 人材育成・キャリア支援 	<ul style="list-style-type: none"> 多様性のある働き方の 尊重・推進 職場環境の向上 人事評価制度の見直し 	女性社員比率 女性管理職比率 有給休暇取得率 従業員エンゲージメントの向上 ^{*1}	30.0% 30.0% 80.0% 2.5点	22.0% 10.3% 62.0% 3.0点	20.5% 9.6% 59.3% 3.0点	
より多くのお客様 に「食」の楽しさと 健康を提供し、豊 かな暮らしを実現	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の健康への貢献 食を提供する従業員 に対し健康への貢献 高齢化社会への対応 新技術・新素材の応用 	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健用食品の販売 ケア食品の 拡販・商品開発 	健康診断受診率 トク牛、ケア牛の 年間販売数 ^{*2} 健康的な食生活に 貢献する商品の提供	100% 10万食 —	91% 7万食 —	89% 8万食 —	
グローバルビジネ スの展開による地 域社会の発展への 貢献	<ul style="list-style-type: none"> 「食」のインフラとして の機能強化 地域社会とのつながり 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂への食事支援 吉野家の饪飯技術による 非常食の開発・提供 オンラインドリーム号 による被災地支援 	「店舗の地域貢献活動」 の拡大 (子ども食堂など食の提供)	全都道府県 にネットワーク を構築	27/47 都道府県 (47,281食)	23/47 都道府県 (44,813食)	
お取引先様との共 創による持続可能 なサプライチェーン の構築	<ul style="list-style-type: none"> 食の安全の確保 サプライチェーンの 健全性確保 	<ul style="list-style-type: none"> 購買先工場監査体制 の構築 環境負荷を考慮した 資材の購入 	サプライヤー監査 (環境や人権に配慮した サプライチェーン構築)	100%	86%	81%	
環境に配慮した事 業活動による気候 変動対応	<ul style="list-style-type: none"> 店舗・工場製造過程 での食材ロス削減、 再利用 包材の環境負荷低減 	<ul style="list-style-type: none"> 店舗・工場における ロスの削減、再利用 産業廃棄物 (廃油・廃材)の再利用 設備機器のリユース 	国内工場から排出する 廃棄物の再生利用 ^{*3} 特定プラスチックの削減 (2020年対比50%) エコレストランの継続認定 ^{*4}	57% 24.15kg /億円 認定継続	53% 25.00kg /億円 2017年認定	52% 32.50kg /億円 2017年認定	

- ※ 1 企業の風通しを外部機関に依頼し計測しています。目標値の2.5点は従業員の半数が組織や仕事に対して負担感が少なく主体的に取り組んでいる心理状態を示しています。
 ※ 2 トク牛は国の審査を得て販売している特定保健用食品です。ケア牛は咀嚼・嚥下機能が低下した方向向けの介護食品です。
 ※ 3 吉野家ホールディングスグループ国内7工場の再生利用率です。
 ※ 4 吉野家は2017年公益財団法人日本環境協会から地球にやさしい「飲食店」を認定するエコマークを付与され「エコレストラン」の認定を受けました。

サステナビリティの推進

<グループ各企業の地域貢献活動>

【吉野家】



【はなまる】



【ウィズリンク】



子ども食堂への食の提供 / お礼の手紙

高齢者向け施設 / 学校への出張ラーメン

本資料について

本資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画予測数値などは、現在入手可能な情報を元に、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんので、ご承知おきください。

お問い合わせ先

For the People

**YOSHINOYA
HOLDINGS**

広報・IR担当

Email: koho_ir@yoshinoya-holdings.com